

## 一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

### 【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。  
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。  
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

## 一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- 以下の各設問の( )内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

- 
1. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める( )に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。

[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理]

---

2. 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時( )しておかなければならない。

[A. 確保 B. 選任 C. 募集]

---

3. 旅客自動車運送事業者は、( )以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けなければならない。

[A. 六十歳 B. 六十五歳 C. 七十歳]

---

4. 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、( )に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

[A. 運行管理規程 B. 就業規則 C. 事業計画]

---

5. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の( )をしてはならない。

[A. 割引 B. 払戻し C. 割戻し]

---

6. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等が運行の業務に従事した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を( )により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。

[A. 乗務記録 B. 運行記録計 C. 運行指示書]

---

7. 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、( )かつ懇切な取扱いをしなければならない。

[A. 公平 B. 親切 C. 丁寧]

---

一般貸切旅客自動車運送事業者は、( )に運行指示書を作成しなければならない。

8.

[A. 運転者等ごと B. 車両ごと C. 運行ごと]

---

自動車の( )は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備することにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。

9.

[A. 所有者 B. 使用者 C. 運転者]

---

旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後( )以内に管轄する地方運輸局長(国土交通大臣)に当該事業年度に係る事業報告書を提出しなければならない。

10.

[A. 三十日 B. 六十日 C. 百日]

---

一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を( )結果を生ずる競争をしてはならない。

11.

[A. 助長する B. 阻害する C. 確保する]

---

旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して( )保存しなければならない。

12.

[A. 半年間 B. 一年間 C. 三年間]

---

「旅客自動車運送事業」とは、( )に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。

13.

[A. 自己の目的 B. 自治体等の要請 C. 他人の需要]

---

一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の( )に努めなければならない。

14.

[A. 向上 B. 維持 C. 確保]

---

旅客自動車運送事業者は、アルコール検知器を営業所ごとに備え、( )保持するとともに、運転者の酒気帯びの有無について確認を行う場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコール検知器を用いて行わなければならない。

15.

[A. 常時有効に B. 運行管理者が C. 乗務員が]

---

一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等が運行の業務に従事したときは、運転者等の氏名等の事項を運転者等ごとに記録させ、かつ、その記録を( )保存しなければならない。

16. [A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]

---

旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から( )以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。

17. [A. 十日 B. 十五日 C. 三十日]

---

一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の( )を受けなければ、その効力を生じない。

18. [A. 許可 B. 認可 C. 承認]

---

一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地( )その営業区域外に存する旅客の運送(路線を定めて行うものを除く)をしてはならない。

19. [A. のいずれもが B. のどちらかが C. に関係なく]

---

一般旅客自動車運送事業者は、( )の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

20. [A. 運行計画 B. 事業計画 C. 運行回数]

---

一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、( )国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

21. [A. あらかじめ B. 事後に C. 運送開始前に]

---

旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務を終了した運転者等に対して対面により、又は対面による点呼と同等の効果を有するものとして国土交通大臣が定める方法により点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び( )について報告を求めなければならない。

22. [A. 運賃収入 B. 運行の状況 C. 健康状態]

---

旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者の要件は、( )以上であり、第二種免許を取得し、その効力が停止されていないこと。

23. [A. 十八歳 B. 二十一歳 C. 二十四歳]

---

24. 拘束時間は、4週間で平均し1週間当たり65時間を超えないものとする。ただし、貸切バスを運行する営業所において運転の業務に従事する者、貸切バスに乗務する者及び高速バスに乗務する者については、労使協定があるときは、52週間のうち( )までは、4週間で平均し1週間当たり71.5時間まで延長することができる。  
[A. 12週間 B. 16週間 C. 20週間]
- 

25. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を( )しなければならない。  
[A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に]
- 

26. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や( )の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。  
[A. コンプライアンス B. 安心 C. 利用者サービス]
- 

27. 一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者は( )の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過していなければならない。  
[A. 6ヶ月以上 B. 1年以上 C. 2年以上]
- 

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

---

28. 一般旅客自動車運送事業者事業者は、運行管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から2年を経過しない者であっても運行管理を補助させるための者であれば、選任することができる。
- 

29. 旅客自動車運送事業の乗務員は、事業用自動車の中で喫煙してはならない。
- 

30. 国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者について旅客の利便を阻害している事実が認められた場合に限り、事業改善を命ずることができる。
-

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点
点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
A	B	B	C	C	B	A	C	B

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
C	B	B	C	A	A	B	B	B

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
A	B	A	B	B	B	A	C	B

(問題28～30は【O・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
×	O	×